

私は六論会を代表して、議案第1号から議案第6号までの議案6件、令和7年度一般会計予算及び各特別会計予算並びに水道会計予算及び下水道事業会計予算の全てに賛成する立場で討論します。

令和7年度一般会計予算は、601億4,700万円で、前年度比12.3%、65億8,200万円の増となっており、令和6年度の当初予算535億6,500万円を大きく上回る過去最大の予算規模になっています。

まず、歳入から申し上げますと、根幹となる市税は、定額減税による減収分の復元や個人所得の伸びにより個人市民税が前年度比11.8%の増、企業収益の改善により法人市民税が9.1%の増、物流施設の新設等に伴う家屋及び償却資産の増により固定資産税が5.1%の増となるなど、市税全体では約15億6,100万円、6.9%の大幅な増が見込まれています。その一方で、定額減税の減収補填に係る地方特例交付金や地方の財政不足を補う普通交付税は減となり、普通交付税の代替である臨時財政対策債は、平成13年度の制度創設以来初めて新規発行債がゼロとなるなど、必要な一般財源の確保が厳しい中、財政調整基金の取崩しを最小限に抑えて予算編成をおこなっております。また普通建設事業の大幅増に伴い市債が約18億300万円、70.3%の増となっていますが、市債発行総額を公債費の元金償還額以内に収めて市債残高を減少させ、財政の健全性にも配慮されていることを評価します。

次に、歳出について費目別に申し上げますと、総務費では、病院バスの空席を活用した高齢者移動支援事業が計上されているほか、市民課等の窓口における書かない窓口への対応に向けて、申請者自動作成支援システムの導入経費が計上されているなど、市民の利便性の向上が図られています。

民生費では、障がい者の訪問入浴サービスの利用回数の上限が見直されているほか、介護支援専門員の研修費用等の助成や処遇改善を市独自に行い、介護人材確保対策が図られ、衛生費では、健康・スポーツポイント事業にのだ健康・スポーツアプリが導入されたほか、母子健康手帳アプリも導入され、幅広い世代の益々の健康増進や積極的な健康管理が期待されます。

農林水産業費では、野田自然共生ファームによる農業人材育成事業に有機農業のための経費が計上されており、有機農業の推進を期待いたします。有機農業の推進のためにも、人材育成、研修、経営、販路開拓などに取組むとともに良質な堆肥を作るため、新堆肥センターの建設を要望いたします。

商工費では、引き続き商品開発事業補助金が計上されているほか、将棋女流タイトル戦の開催経費も計上され、土木費では、連続立体交差事業及びその関連事業の進捗が図られるとともに、未来の子供たちに豊かな自然環境を守り、引き継いでいくために、尾崎金島地区のビオトープ整備に向けた環境調査に係る経費が新規に計上され、消防費では、高規格救急自動車一台、はしご付消防自動車一台の更新のほか、新たに自主防災組織等の防災士資格取得費用助成金や総合防災システムの導入経費が新規に計上され、地域防災力及び災害対応力の向上が図られています。

教育費の学校関係では、子供たちから要望の多い学校トイレ洋式化を加速し、避難所となる中学校体育館の空調設備設置事業・新給食センター整備事業が計上されていますが、実体に即した計画的な予算執行を要望します。また、多くの生徒が参加している部活動の充実を図るため、中学校の部活動指導員が増員され、少子化に伴う部員減少等に対応した部活動地域支援事業も新規計上されています。保健体育関係では、スポーツコミッション事業費が新規計上されたほか、SAN-POWスタジアム野田（総合公園野球場）改修工事、（仮称）関宿スポーツフィールド整備費が計上され、スポーツを通じた健康で明るいまちづくりにも取り組んでいます。

最後に、各費目において、市政施行75周年記念事業費が、厳しい財政状況の中、知恵を絞った形で計上されていますが、次の市政100周年に向けた事業展開にも期待しております。

また、各項目において自治体DXの様々な取組も始まっており、市民の利便性と職員の働き方改革につながる更なる取り組みを期待いたします。

以上、主だったものを取り上げましたが、今後も喫緊の課題である公共施設の老朽化対策も進めなければならず、厳しい財政状況が続くと思われます。持続可能な財政基盤を構築するためにも、引き続き新たな財政確保や事業の廃止も含めた徹底的な事業の見直しをお願いします。

また、国民健康保険、介護保険及び後期高齢者医療の各特別会計予算並びに水道事業会計予算及び下水道事業会計予算についても、設備の更新や災害対策など、それぞれの目的に沿った適切な予算処置がなされていると評価いたします。

以上のとおり、私は令和7年度一般会計予算ほか全ての予算に賛成いたします。